

- 試験法開発で培った、各種車両の信頼性の高い騒音評価試験
- 後付消音器・非認証車の公的試験機関としての騒音試験
- 走行音試験路面では高速走行時の騒音評価試験が可能
(加速区間約1,000m、減速区間約300m)



通過騒音試験

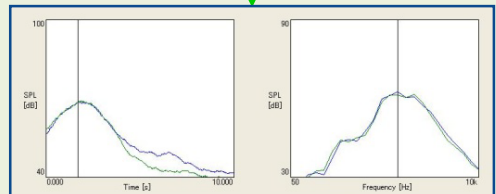


近接排気騒音試験



騒音レベルの時間変化

周波数特性



車外騒音計測システム

城里テストセンター 多用途試験路
全長：1,500m

くわしくはこちら

<https://www.jari.or.jp/>

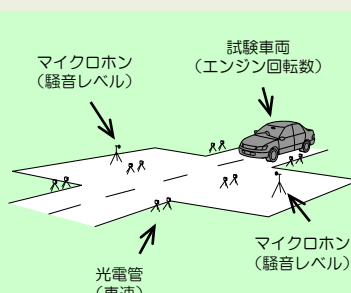


お問い合わせはこちら

<https://www.jari.or.jp/contacts/>



対応可能な試験事例

試験区分	試験対象	適用試験法例	走行音試験路面	計測項目
騒音評価試験	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車 ・小型車 (車両総重量3.5t以下) ・大型車 (車両総重量3.5t超) 	国内試験法 (TRIAS* ¹) ・近接排気騒音試験 ・定常走行騒音試験 ・加速走行騒音試験 ・警音器試験 UN規則 (UN/WP29* ²) ・R51 (四輪車) ・R41 (二輪車) ・R117 (タイヤ) ISO規格 ・ISO 362-1 (四輪車) -2 (二輪車) ・ISO 13325 (タイヤ) ・ISO 5130 (近接排気)	<城里テストセンター> 走行音試験路面 (多用途試験路内) (茨城県東茨城郡城里町)	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音レベル ・車速 ・エンジン回転数 ・その他*³ 
公的試験機関としての騒音試験 ・後付消音器 ・非認証車	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車 ・小型車 (車両総重量3.5t以下) 	TRIASに準ずる ・近接排気騒音試験 ・加速走行騒音試験		

*1: 新型自動車審査関係基準

*2: 国連自動車基準調和世界フォーラム

*3: その他の測定項目についてもご相談に応じます。

JARI走行音試験路面 (ISO路面) の諸元

		ISO 10844:2014 JIS D 8301:2020	<城里テストセンター> 走行音試験路面* ¹ (多用途試験路内)
施行日		—	2021年4月
施工業者		—	株式会社 NIPPO
路面の 要求特性	吸音率	走行路: 8%以下 伝ば領域: 10%以下	←
	路面粗さ (MPD)	0.5mm±0.2mm	←
	凹凸量 (走行路)	縦断方向: 2mm以下 横断方向: 3mm以下	←
設計の 要求事項	舗装種類	密粒度アスファルトコンクリート	←
	骨材の 最大粒径	8mm (許容範囲: 6.3mm~10mm)	←
	舗装厚さ	30mm以上	←
	バインダ	ストレートアスファルト, 改質アスファルトも可	改質アスファルト

*1: ISO 10844:2014, JIS D 8301:2020に適合